

学びの次元と関連する知性

フォーカス次元

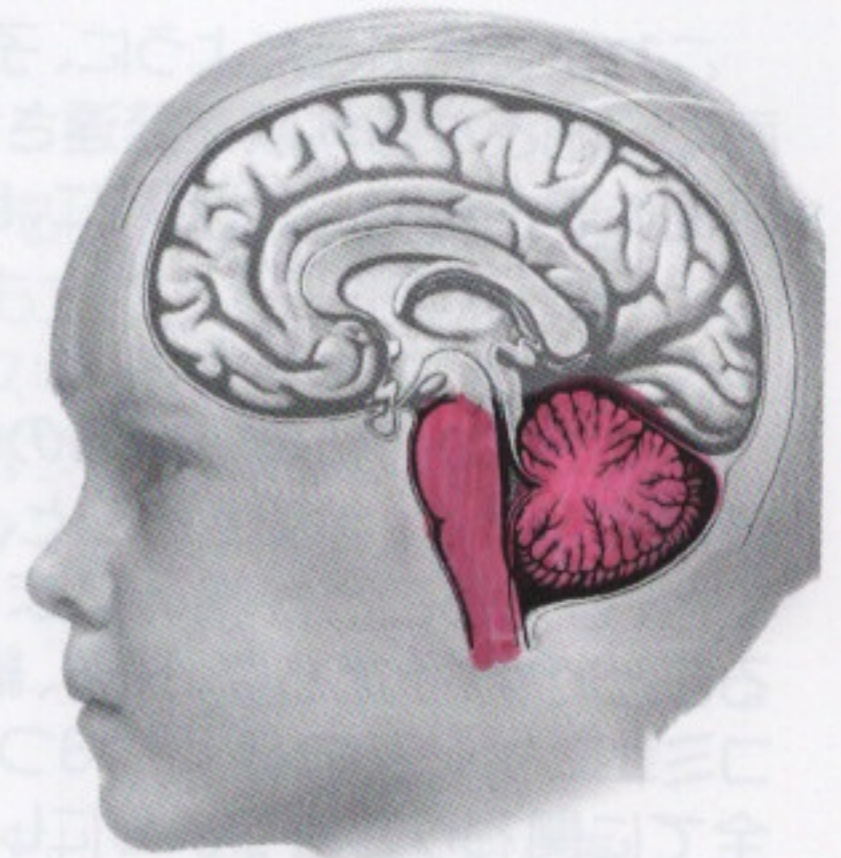
注目する知性

私は空間の中でどこにいるか？

要求を満たすべく全脳を支配する。

- ・最初に発達する
- ・見る、参加する、予期する、理解する
- ・呼吸や心拍などの自律的な機能をコントロールする
- ・視覚スキルを促す
- ・前庭系と繋がっている
- ・高度な理由づけセンターへの繋がりを開閉する
- ・フリーズ、闘争(生存の為に戦いや暴力)または逃走反応を司る
- ・全ての情報を感覚から受け取る(受容的)

私は安全だ。



小脳 - 網様体賦活系(RAS) - 脳幹

センタリング次元

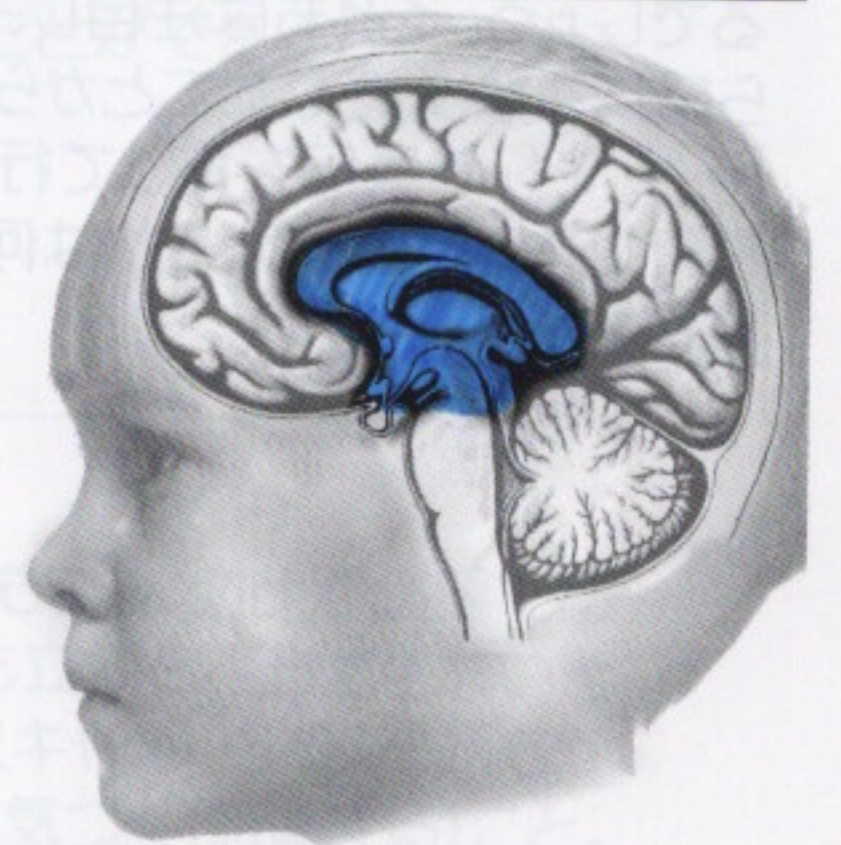
情動の知性

人々や場所、物との関係で私はどこにいるか？

全ての情報は脳のこの領域を経て伝達される。

- ・二番目に発達する
- ・感情、安定化、組織化
- ・短期記憶から長期記憶への変化を助ける
- ・喜びや不安の反応を起こす
- ・ホルモン分泌
- ・闘争・逃走反応(防御体勢)
- ・人との関わり、愛と遊び

私は繋がる



視床 - 視床下部 - 扁桃体 - 松果体 - 下垂体 - 大脳基底核 - 海馬

ラテラリティ次元

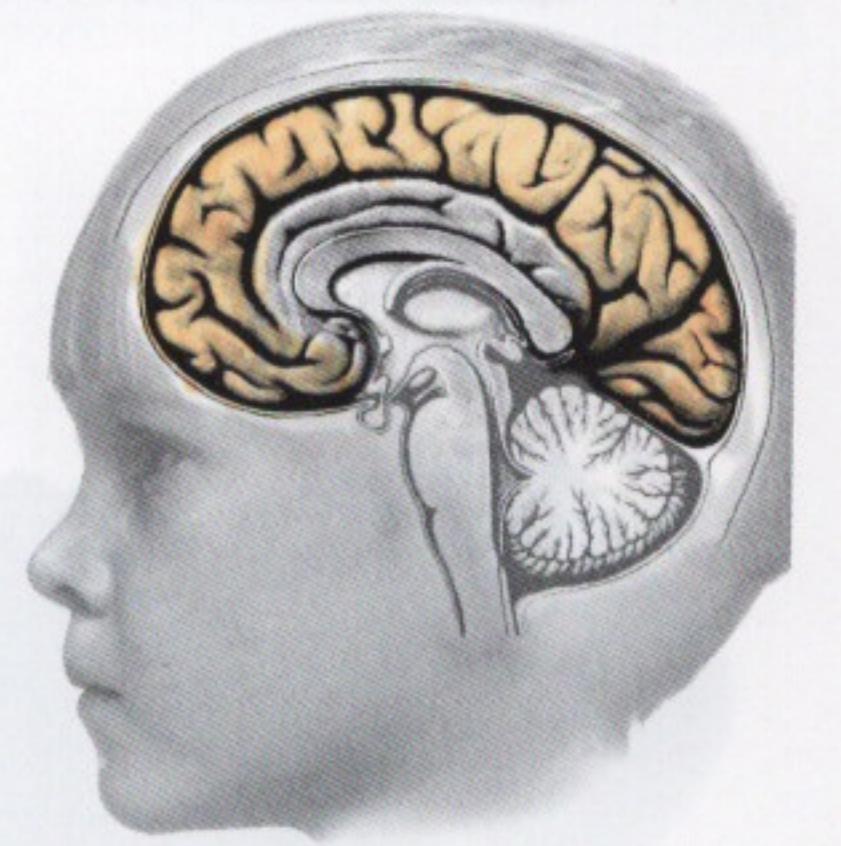
情報の知性

私は誰か？ それは何か？

両側の間に情報の流れが滞るとき = 不統合。

- ・三番目に発達し、8才頃までは完全に発達しない
- ・思考、処理、コミュニケーション
- ・全ての感覚を解釈する
- ・複雑な記憶/思考/理由の形成を可能にさせる
- ・言語習得
- ・表出力(話し言葉、非言語、書き言葉)
- ・ゲシュタルト(全体像)とロジック(詳細)の中枢

私は自分自身のことをわかっている



大脳皮質 - 脳梁

出典:情報はポール・E・デニソン博士、ゲイル・デニソンとブレインジムインストラクターのケリー・スワンソン・コーディのワークから集められた